

### 憲法に自衛隊明記「賛成」55%...読売世論調査

読売新聞 2018年04月30日 14時27分

読売新聞社が実施した憲法に関する全国世論調査で、自衛隊の根拠規定を明記する自民党の改憲条文案への賛成が55%に上ったことに、同党内から歓迎の声が出た。

一方、公明党や、立憲民主党などの野党は、改憲への国民の理解は深まっていないとして、慎重姿勢を崩していない。

自民党の高村正彦副総裁は29日、調査結果について「緩やかながら憲法改正に関心を持つ国民が増えてきている」と述べ、同党の改憲案に理解が進んでいることへの手応えを強調した。

同党が3月にまとめた自衛隊明記の条文案は、9条1項と2項を維持し、新設する「9条の2」に自衛隊保持を明記するものだ。党内多数派が支持する有力案と位置づけている。

### 憲法改正、賛成51%...自衛隊「合憲」76%

読売新聞 2018年04月30日 09時30分

読売新聞社は、憲法に関する全国世論調査（郵送方式）を実施した。

憲法を「改正する方がよい」は51%、「改正しない方がよい」は46%だった。前回2017年3～4月調査では、「する方がよい」と「しない方がよい」が各49%で

きっこう拮抗していた。改正賛成が反対を上回ったのは15年調査（賛成51%、反対46%）以来3年ぶり。

今回調査は、3月13日～4月18日に全国有権者3000人を対象に実施し、1936人から回答を得た（回答率65%）。調査の期間中、学校法人「森友学園」や「加計学園」を巡る問題などで、安倍内閣の支持率が下落したが、憲法改正の賛否には大きく影響しなかったようだ。

自民党がまとめた憲法改正案4項目のうち、今の憲法9条の条文は変えずに、自衛隊の存在を明記する条文を追加することに「賛成」は55%、「反対」は42%だった。安倍首相は、改正の理由として、「自衛隊違憲論」の解消を訴えているが、自衛隊の存在が「合憲」と思う人は76%に上り、「違憲」は19%。憲法への自衛隊明記に「賛成」と答えた人の割合は、合憲派で57%、違憲派で52%となり、いずれも半数を超えた。

しんぶん赤旗 2018年4月30日(月)

安倍9条改憲許さぬ 全国280カ所 多彩に 憲法記念日 東京では大集会

5月3日の憲法記念日を中心にした全国の行動計画を、本紙が地方総局・都道府県記者を通じて調べたところ、4月下旬から約1カ月間に280カ所を超えていることがわかりました。集会、デモ、ウォーク、パレード、スタンディング、宣伝、講演会、学習会、映画上映、講談、バンド演奏など多彩です。

5・3中心に各地で次々と

今年の行動は、「安倍9条改憲ノー」「安倍9条『壊憲』のワナ」「変えていいの？憲法9条」「国会発議を許さない」「アベ即時退陣・内閣総辞職を求める」など、安倍政権とのたたかいをテーマに掲げているのが特徴で、安倍9条改憲に反対する「3000万人署名」が草の根で取り組まれます。市民や団体の共同行動として取り組まれるところも目立ちます。本紙は4月23日付から30日付まで連続して行動計画の詳細を紹介してきました。

東京でおこなわれる中央行動は、3日の憲法集会です。実行委員会が主催し、「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」「安倍9条改憲NO！全国市民アクション」が共催します。

東京臨海広域防災公園（有明防災公園）で午前11時にサブステージ開始、午後1時にメイン集会が開かれます。集会後にパレード。会場は、りんかい線国際展示場駅から徒歩約4分、ゆりかもめ有明駅から徒歩約2分。

6月3日には、若者憲法集会が東京都内で開かれます。午前中は都内各地で分科会。午後1時半から上野公園野外ステージでメイン集会。午後4時から新宿中央公園に集合してデモ行進します。

### 点検・改憲論議 / 1 9条への自衛隊明記 消えた「最小限度」 「自衛権」範囲あいまい

毎日新聞 2018年5月1日 東京朝刊

自民党の9条改正案は…

現在の9条

1項 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇または武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

2項 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

自民党案(9条に追加)

9条の2

1項 前条の規定は、我が国の平和と独立を守り、国及び国民の安全を確保するために必要な自衛の措置をとることを妨げず、そのための実力組織として、法律の定めるところにより、内閣の首長たる内閣総理大臣を最高指揮監督者とする自衛隊を保持する。

2項 自衛隊の行動は、法律の定めるところにより、国会の承認その他の統制に服する。

安倍首相

自衛隊の正当性を明確化することは、憲法改正の十分な理由になる。9条1・2項に加え、自衛隊を明定することで、自衛隊の任務や権限に変更は生じない(4月9日、参院決算委)

立憲民主党 枝野幸男

「自民党は」集団的自衛権がフルスペック(全面的)に認められることを含め、従来の解釈が全く維持されない。安倍さんが今まで言ってきたことはもうなかった(3月23日、記者団と)

自民党の9条改正案は…

「ある自衛官が、私にこう言った。息子から『お父さんは憲法違反なの』』と言われた、と。皆さん、このままでいいのでしょうか」

安倍晋三首相は4月20日、自民党が非公開で行った地方議員の研修会で、「自衛隊違憲論」を解消するための9条改正を改めて訴えた。ただ、約50分の講演で改憲に触れたのはわずか3分間。不祥事で政権の基盤が揺らぐ中、多くを外交などのアピールに割き、改憲の機運が高まらない現状を図らずも映した。

首相は昨年5月3日の憲法記念日に、9条1項、2項を維持したまま自衛隊を明記する改憲を提起した。同時…

しんぶん赤旗 2018年4月30日(月)

### 安倍9条改憲ノー 市民と野党が板橋大集会 東京

東京都板橋区で29日、「安倍9条改憲NO!板橋大集会」が開かれ、約800人が参加しました。思想・信条を超えて個人が集まる「許さない!戦争法オール板橋行動」が主催。集会後、参加者は2コースに分かれ「安倍政権は今すぐ退陣」「改憲発議絶対止めよう」などのコールに合わせて



(写真)「平和憲法を生かそう」とパレードする集会参加者たち=29日、東京都板橋区内

ピースパレードを行いました。

主催者あいさつで代表の中本源太郎さんは「非軍事で平和を達成するのだという憲法のタガを外させてはいけない。自衛隊統合幕僚監部の3等空佐が、国会議員を国民の敵と罵倒したことに、(戦争する国の)恐ろしさを垣間見ることができる」と述べ、安倍9条改憲反対の3000万人署名に力を尽くそうと呼びかけました。

超党派の多様な市民が集まって2015年に初開催された同集会は、4回目の今回も住職や弁護士ら7人がスピーチしました。

日本共産党や立憲民主、社民、自由、生活者ネットワーク、新社会の各政党の代表が参加し、「9条を掲げた日本の

外交こそ北東アジアに平和をもたらす。政治に信頼と正義を取り戻そう」(共産党・池内さおり前衆院議員)、「市民と野党の本気の共闘で政権を変えよう」(自由党・渡辺浩一郎元衆院議員)などと連帯のあいさつをしました。

### 戦争の悲惨さ 経験者語る 東京で催し

NHK4月30日 16時56分



太平洋戦争の戦場や引き揚げを経験した人たちが、当時の厳しい体験を語る催しが、東京 新宿区で開かれています。この催しは、東京 新宿区の平和祈念展示資料館が企画したものです。

集まった来館者は、兵士たちを戦場に送り出した召集令状、いわゆる「赤紙」などの資料を、学芸員の説明を受けながら1時間ほどかけて見て回りました。

このあと、戦後、旧満州の奉天から1年余りかけて幼い妹2人を連れて日本に引き揚げた84歳の手塚元彦さんが、当時の厳しい体験を語りました。

終戦の時に11歳だった手塚さんは、父がシベリアに抑留されて母も病死したことから、きょうだいで現地の孤児院に入り、亡くなった子どもたちの遺体を運ぶ作業を行っていたということです。

手塚さんは、今でも夜中にうなされることがあると語り、「何が何だかわからないまま亡くなるのは、小さな子どもたちだ。戦争は二度と起こしてほしくない」と訴えました。講演を聞いた19歳の女子大学生は「戦争を経験した人の話を聞く機会はなかなかない。こうして平和であることをしっかりかみしめていきたい」と話していました。

平和祈念展示資料館では、来月3日から6日にかけても、戦争の語り部たちによる講演が日替わりで行われます。



この催しは、東京 新宿区の平和祈念展示資料館が企画したものです。

集まった来館者は、兵士たちを戦場に送り出した召集令状、いわゆる「赤紙」などの資料を、学芸員の説明を受けながら1時間ほどかけて見て回りました。

このあと、戦後、旧満州の奉天から1年余りかけて幼い妹2人を連れて日本に引き揚げた84歳の手塚元彦さんが、当時の厳しい体験を語りました。

終戦の時に11歳だった手塚さんは、父がシベリアに抑留されて母も病死したことから、きょうだい現地の孤児院に入り、亡くなった子どもたちの遺体を運ぶ作業を行っていたということです。

手塚さんは、今でも夜中にうなされることがあると語り、「何が何だかわからないまま亡くなるのは、小さな子どもたちだ。戦争は二度と起こしてほしくない」と訴えました。講演を聞いた19歳の女子大学生は「戦争を経験した人の話を聞く機会はなかなかない。こうして平和であることをしっかりかみしめていきたい」と話していました。

平和祈念展示資料館では、来月3日から6日にかけても、戦争の語り部たちによる講演が日替わりで行われます。

#### ハンセン病の歴史 監禁施設の写真公開 群馬

NHK4月30日 12時53分



群馬県草津町のハンセン病の療養所に、昭和20年代にかけて存在した患者を監禁する施設の写真が、30日から一般公開されています。

草津町のハンセン病の療養所「栗生楽泉園」では、昭和22年までの9年間、「重監房」と呼ばれる施設が患者の監禁に使われ、その施設の写真のパネルが30日から公開されています。

パネルは3枚の写真をつなげたもので、そのうちの1枚は、去年5月に見つかり、その後の調査で、これらの3枚は昭和24年から27年にかけて、療養所の全体を写したものと確認されたということです。

会場では、除幕式が行われたあと、訪れた人たちが写真パネルの前で足を止めてじっくり見入っていました。

見学を訪れた73歳の男性は「今とは雰囲気違って、栗生楽泉園の存在を見直す貴重な資料を見ることができました」と話していました。

写真パネルを公開した「重監房資料館」の北原誠主任学芸

員は、「重監房と患者が住んでいる地区までの距離や位置関係がわかり、ここに施設が作られた理由などを考える一助になれば」と話していました。